

なぜ「明けましておめでとう」なの？

冬休み前ということで、12月の全校朝会では、次のような話をしました。

明日から冬休みが始まりますね。この時期ならではの挨拶があります。年末は「よいお年をお迎えください。」そして、1月1日になつたら？「明けましておめでとうございます。」ですよね。なにが「おめでとう」なのでしょうか？

年神様をお迎えする

日本では、昔から1月1日になると、おうちに「年神様」という神様をお迎えします。そうすると、「家族が幸せになる」「豊かになる」と考えられてきました。

年末は、門松やしめ縄を飾ったり、大掃除をしたりしますよね。これは、年神様をお迎えするためです。

鏡餅を飾るおうちもあるでしょう？この鏡餅には、「年神様の魂が宿る」という考えがあります。飾った鏡餅を食べることで、幸せになるとも考えられてきました。



年をとれた

めでたい理由はもう一つあります。それは、「年をとれた」というめでたさです。昔は、「数え年」といって、今とは年齢の数え方が違います。

まず、生まれた時に、みんな1歳になります。これは、お母さんのおなかの中にいた時間も年齢に数えるからです。

そして、1月1日に、みんな1つ年を取ります。

昔は、今と違って年をとれるのは当たり前ではありませんでした。

右の写真は、校長先生の実家にあるお墓の写真です。これは、墓碑銘といって、誰が何歳で亡くなったかが書かれています。

見て分かるように、三歳や四歳、十六歳で亡くなっています。若くして亡くなる人もたくさんいました。

今のように、殆どの人が年をとれるというのは当たり前ではなかったのです。

だから、「無事に年をとれたね、おめでとう」という意味もありました。



このように、「明けましておめでとう」には、

- 年神様をお迎えする(幸せになる)
 - 1つ年をとれた
- というめでたい気持ちが込められています。

冬休みには、ほかにも楽しい行事やイベントがありますね。クリスマス、大掃除、

年越しそば、除夜の鐘、初もうで、おせち料理など、たくさんあります。

ぜひ楽しい冬休みを過ごしてください。そして、それぞれの行事にも意味がありますので、調べてみるのも面白いですよ。

全校集会では、いつも南っ子のよいところを紹介しています。挨拶や履物そろえ、無言掃除、季節ごとの行事など、ほめることがたくさんあります。そして、今回のように伝統文化や歴史に関することも伝えるようにしています。

児童の活躍

南っ子の活躍を紹介します。

第69回西日本読書感想画コンクール

優秀賞 3年 大山 りょう さん

第50回JA「ごはん・お米とわたし」图画コンクール

金賞 5年 寺谷 りお さん

小林市民スポーツ祭第74回こばやし駅伝競走大会

6年 武田 かのん さん (1区)] 南校区チーム 第6位
5年 松本 むつひろ さん (5区)	
6年 清田 ひかり さん (12区)	

第60回小林市武道大会 剣道競技 小学5・6年生 個人の部

優勝 瀬口 かほ さん

第57回全国ミニバスケットボール大会 宮崎県チャンピオンシップ 女子の部

第4位 小林ミニバスケットボールクラブ

第7回えびの駐屯地司令杯小学生バレー大会(女子の部)

優勝 南少女バレー部

第42回 小林地区少年少女バレー選手権大会

第3位 南少女バレー部

第33回 サクラクレパス杯バレー大会

第3位 南少女バレー部

第34回 UMK宮崎県小学生バレー大会 小林地区予選会

第3位 南少女バレー部

南小ホームページを更新しています

学校の様子は南小学校のホームページに記しております。

この学校便りで紹介できなかった取組もたくさん紹介しています。

ぜひご覧ください。

南小HPのQRコード →

